



研修参加報告書

東京電機大学での情報	
学籍番号	2年生
学部／研究科	工学部
学科・学系／専攻	機械工学科
研修期間	2021年3月8日 ～ 2021年3月20日

研修先情報	
大学・機関名	FPT 大学
国名	ベトナム

研修に参加したきっかけ
以前から長期休暇を利用した海外研修に興味があり、過去の研修内容を読むなどしていたが、新型コロナウイルス感染症の流行により現地で研修を受けることが出来なくなってしまった。そこでオンラインで開催され、かつ費用の負担もなかった本研修にもオーストラリアのグリフィス大学の研修とともに参加することにした。

研修参加の目的
<ul style="list-style-type: none">・ 英語の技能、特にスピーキング能力を向上させることで英語を話すことへの抵抗感をなくすこと。・ アジア系の英語の訛りに触れることで今後、海外の方々と交流する際にスムーズに会話を進めるための足掛かりとするため。

研修内容（できるだけ詳しく記入してください）
<p>研修が始まる前にプログラムコーディネーターに LINE の ID を送り、電大から研修に参加する学生と FPT 大の担当者と構成される LINE グループが作成された。主な連絡はこの LINE グループに掲載された。参加者には FPT 大学から Google アカウントが配布された。そのアカウントを用いて授業は Google Meet で行われ、授業課題は Google classroom で配布された。</p> <p>研修初日は開会式とオンライン英語学習を効果的に進める方法についてのミーティングが開かれた。開会式ではやたらと壮大な動画が流れ、とても歓迎されている感じがした。また、その後のオンラインミーティングではどのような心構えでこれからの授業を受けるべきかといった内容の講習を受けた。2日目には効果的に英語学習を進める方法について FPT 大学の学生から発表があり、お勧めアプリやサイトを紹介して下さった。</p> <p>授業は先生一人と少人数の学生で行う English Class と学生のみで行われる English Pair Tutoring の二種類があった。私の場合、English Class ではネイティブの先生一人にベトナムの学生一人、電大生二名という構成だった。全授業を通して 4 つのトピックを扱った。文法事項などの基本的な内容もあったが、ある事柄について互いに意見を発言</p>



しあうという内容が 8 割を占めていた。また、毎回の授業に発表用のスライドを用意する必要があり、英語での発表経験のない私にとってはとても大変なことであったが、良い経験となった。**English Pair Tutoring** では学生のうち一人がその日のリーダーとして与えられたトピックについて会話が弾むようにまたしてもスライドを用意する必要があった。学生だけということで少々不安であったが、ベトナムの学生は私よりも英語が堪能であったので何とか楽しく会話をすることが出来た。

3 月 13 日には **Culture Exchange** が行われ、事前に振り分けられたチーム対抗で各国の文化に関する問題に解答していくといった内容だった。電大と **FPT** 大の学生だけでなく同時期に **FPT** 大でプログラムを行っていたと思われるマレーシアの学生も加わったチームで対抗戦をしたわけだが、当日までにチーム紹介ビデオとチームで何かしらのパフォーマンスをしている様子のビデオの 2 種類を制作する必要があった。私のチームでは各々が歌っている様子を動画に収め、あたかも皆で合唱しているかのような動画を作成し、これをパフォーマンスビデオとした。またクイズ対決の後に料理対決もあり、事前に与えられたベトナム料理のレシピに沿って、カメラをオンにして配信しながら調理をした後で完成品を写真に撮り送るというような流れだった。普段使わないような食材を準備する必要があったため、かなり大変であった。以上のことからプログラム最初の 1 週間はかなり大変なスケジュールであったと思う。

また、週に 1 回ほどプログラムコーディネーターと参加者で **Review meeting** が設けられていた。その日までの学習でよくわからなかったことや困ったことなどについてコーディネーターに相談することが出来た。

最終日の **Closing Ceremony** も壮大な動画やこれまでの授業録画を再編集した思い出ムービーが上映された他、一緒に乾杯するなど現地で行われる研修と同じような会であったと感じた。

研修を通して得たもの

- ・少人数クラスで英語を用いてコミュニケーションを取ることでより英語を話すことへの恐怖感を払拭できたこと。
- ・スピーキングのみならず **LINE** グループなどでのやり取りを通じてライティング技能の向上も図れたこと。
- ・他の国の文化に触れることでその国に関する知識を得られたことに加え、日本の文化について学び直すきっかけになったこと。
- ・ベトナム人学生、スタッフとの会話によりアジア系の英語の訛りに触れることができ、ネイティブスピーカーではない方々との会話の際の足掛かりにできたこと。

今後の学習計画

今回の研修で普段よりも多くの英語に触れることで私の英語技能、とりわけスピーキングとリスニング技能を向上させることが出来た。しかしながらこれから先、他国の方々と



仕事をするという場面において今の私の英語能力では不十分であると考えている。従ってこれから先も英語学習を継続して行う必要があると考えている。その学習方法としてこれまでと同様の参考書などを利用したものも考えられるが、それに加えて今回の研修で提示されたオンライン学習ツールを利用することを考えている。また、これまで英語の試験は TOEIC しか受けてこなかったが TOEFL などの試験にも挑戦していこうと考えている。

プログラムに関する要望等あれば（研修時期・内容等）

私はこの春休み中にオーストラリアのグリフィス大学のオンラインプログラムにも参加したので、それと比較した感想を以下に述べたいと思う。

まず授業内容についてである。先にも述べた通り、FPT 大のプログラムは少人数かつ発表することがメインだったのに対し、グリフィス大のプログラムは比較的文法などの講義がメインであった。どちらの形式でも英語能力を向上させることが出来ることに変わりないが、私個人としてはスピーキングとリスニングの技能向上に重きを置いていたため、この点では FPT 大のプログラムの方が私には合っていたと考える。

2 点目は授業に参加している学生についてである。グリフィス大ではグループワークであってもカメラをオンにせず音声だけで参加する学生がいた。更にグループワークでやるように指示された内容が終了すると会話が止まってしまう、ただただ制限時間が来るのを待っているだけのようなことになることもあった。一方で FPT 大では、カメラを常時オンにすることが求められたためカメラを消すことはできなかった。加えてベトナム人学生はどうか今回のプログラムに参加したいと手を挙げた者だけが参加していたらしく、そのおかげで授業に対する姿勢が非常に良かった。そのため会話が止まるようなこともなく大変良い雰囲気での授業が形成されていたように思われる。

3 点目はプログラムそのものについてである。グリフィス大のプログラムでは最初から最後まで電大の学生用に作られたプログラムではなく、あるプログラムに 2 週間だけこちらが参加させていただいたような形であった。対して FPT 大は最初から最後まで電大生のために組まれたプログラムであったため、非常に歓迎されていると感じた。従って FPT 大はアットホームな感覚があり、対してグリフィス大はきちりとした学校という感覚があった。

以上のことから私にはどちらかというと FPT 大のプログラムの方があっていただけると感じた。ただグリフィス大の文法事項などの講義に寄っているプログラムも英語技能を向上させる上では必要なものであるためこの春休みにこの両方のプログラムに参加できたことは大変良い経験であったと感じた。

以上



研修参加報告書


東京電機大学での情報	
学 年	1 年生
学部／研究科	システムデザイン工学部
学科・学系／専攻	デザイン工学科
研修期間	2021 年 3 月 8 日 ～ 2021 年 3 月 20 日

研修先情報	
大学・機関名	FPT 大学
国名	ベトナム

研修に参加したきっかけ
以前から異文化交流、他民族の理解をしたいと思い、大学に入学したらできるだけ多くの語学留学をしたいと思っていた。英語にはあまり自身がなかったが、オンラインということや無料で参加できるということもあり、このプログラムの参加を決意した。

研修参加の目的
<ul style="list-style-type: none">・多文化、他民族の理解、交流・英語力向上

研修内容（できるだけ詳しく記入してください）
私を含め、電大生 4 人とベトナム人の学生 1 人が外国の英語の先生の指導の下、一つのグループで、毎日与えられたトピックについて簡単な英語でのプレゼンを行った。また、English Pair Tutoring という授業では、私を含めた電大生 2 人とベトナム人学生 1 人が、与えられたトピックについて 1 時間のフリートークを行った。これをほぼ毎日行った。一週目の土曜日は、両校の生徒がミックスされたグループごとに、英語で簡単なクイズに答えたり、ベトナム料理を作ってその出来を競ったりした。

研修を通して得たもの
<ul style="list-style-type: none">・英語の効果的な学習の方法・ベトナムの文化（流行、食べ物、気候、映画、音楽など）・プレゼンスキル・友情 

今後の学習計画
洋楽や海外のドラマや映画、YouTube の英語教育チャンネルを活用し、毎日英語に触れるようにする。また、今回の研修を通して自分の語彙力の無さを思い知ったので、単語学



習も毎日行う。

プログラムに関する要望等あれば（研修時期・内容等）

以上



研修参加報告書

東京電機大学での情報	
学 年	1 年生
学部／研究科	システムデザイン工学部
学科・学系／専攻	情報システム工学科
研修期間	2021 年 3 月 8 日 ～ 2021 年 3 月 20 日

研修先情報	
大学・機関名	FPT 大学
国名	ベトナム

研修に参加したきっかけ
春休みの間に英語学習を行いたいと考えていたが、どのプログラムを選べば良いかわからず国際センターの方に相談した際に FPT 大学のオンライン英語研修はサポートが良いと勧めていただいたため。

研修参加の目的
英語で会話を行うことを目的としたプログラムであったために、文法や単語を学ぶだけでなく、より実践的な内容を学ぶことが出来ると思い参加した。英語は書くことが出来ても意思疎通する手段としては会話が多いために、自分の考えていることをすぐに言葉にすることが出来るようになりたかった。

研修内容（できるだけ詳しく記入してください）
<p>始めの一時間半は 6 人程の英語の授業を受講した。これは文法や単語だけでなく、自分の意見を問われたり事前に資料を準備してプレゼンテーションを行ったりと様々なことを学ぶことが出来た。先生はとても優しく、間違えた点は、改善することが出来るようにアドバイスして下さった。</p> <p>残りの一時間は 3 人のグループで決まったトピックに沿って会話を進めていった。グループの内一人がリーダーとなり、会話を進行させていったために、そのための資料作成が求められた。</p> <p>Culture Exchange ではマレーシアの生徒を含めた授業のグループとは異なるグループになり、クイズ形式でそれぞれの国の文化を学んだり、料理をしてベトナム料理の味を家で堪能することが出来た。</p>

研修を通して得たもの
外国の文化と日本の文化の相違点について共有することが出来たために、英語で会話することの楽しさを感じる事が出来た。そのために英語をもっと学んで今回伝えきれ



なかったことを伝えられるようになりたいと思った。授業内では宿題が沢山出されたために、プレゼンテーションの資料を英語で作成することの難しさを実感した。

今後の学習計画

突然質問されたとしても正しい言葉で自分の意見を伝えることが出来るように、正しい文法を意識して発言する練習したいと思った。また、今回のプログラムでできた外国の友人と連絡を取るなどと積極的に生活の中に英語を取り入れようと思った。

プログラムに関する要望等あれば（研修時期・内容等）

この研修は宿題が沢山出される研修であり、今回は休みの期間で時間が沢山あったために良かったものの、大学の授業がある期間に開催されてしまうと、大学の授業が疎かになってしまうのではないかと感じた。

以上



研修参加報告書

東京電機大学での情報	
学 年	1 年生
学部／研究科	工学部
学科・学系／専攻	情報通信工学科
研修期間	2021 年 3 月 8 日 ～ 2021 年 3 月 20 日

研修先情報	
大学・機関名	FPT 大学
国名	ベトナム

研修に参加したきっかけ
海外の文化、観光名所に興味があり将来海外で働くことも視野に入れているため英語の力を伸ばしたかったが、なかなか海外の人と話す機会がありませんでした。今回の研修の費用は大学負担であることと、二週間という期間、加えて来年の春季短期研修プログラムに参加しようと考えていたため、自分の足りない力を見つけておこうと研修に参加することにしました。

研修参加の目的
実際に英語で話すことによって、普段の会話でどういう単語や文を使うべきなのか。相手とのコミュニケーションを円滑に進めるためにどのようなリアクションをしたり、どのような質問をするべきなのかを実際に体験することで今後の英語学習のモチベーションにつなげようと思いました。

研修内容（できるだけ詳しく記入してください）
月から金まで毎日レッスンが1時間半、現地の学生との会話が1時間あります。1週目の土曜日のみ現地の学生とレクリエーションのようなことをしました。 レッスンでは事前に与えられた予習課題をしておくことから始まります。レッスンになると単語を学びそれを使って実際に文を作ったり、文法などを学んだりします。それに加えて2日に1回全員がスピーチをする機会があります。約3分程度のスピーチとスライドを用意し発表します。聞き手は1人1回必ず質問しなければなりません。全体を通して読み書きよりも話すことがメインです。 現地の学生との会話では3人の少人数でその日に決められたトピックについて自由に話し合います。先生もいないので、授業という堅苦しい感じではなく楽しく会話をするだけです。 オンラインで開催されたこともあり連絡事項などはすべてメールでやり取りしましたが、もちろんすべて英語です。日本語でのガイドは一切ありません。



研修を通して得たもの

やはり向こうの学生とでは英語の力にかなり差があると思いました。普段から英語で会話することに慣れていないため、かなり言葉足らずなところがあったと思います。日本人は会話の中でジェスチャーをあまり使わないため余計伝わりにくいところがあると思います。会話は単語の羅列ではないので伝える力をつける必要があると思いました。また、外国人は日本の文化や日本になじみのあるものに非常に興味を持っています。自分の国を知っておくことは外国人とのコミュニケーションをより良いものにしてけると感じました。

今後の学習計画

現地の先生にも言われましたが、よく日本人が英語学習でやりがちな、読むだけ、聞くだけでは意味がありません。読んで口に出してみる、聞いて口に出してみる、そうしなければ英語力は伸びません。これからの英語学習では可能な限り声に出しながらの学習を心掛けます。それに加えて現地の学生と友達になることができたので、定期的にコミュニケーションをとって実際に日常で使う英語も学ぶことができるとと思います。

プログラムに関する要望等あれば（研修時期・内容等）

特にありません。



研修参加報告書

東京電機大学での情報	
学 年	1 年生
学部／研究科	未来科学部
学科・学系／専攻	ロボット・メカトロニクス学科
研修期間	2021 年 3 月 8 日 ～2021 年 3 月 20 日

研修先情報	
大学・機関名	FPT 大学
国名	ベトナム

研修に参加したきっかけ
コロナの影響により、実際に海外に行つて研修に参加することが難しい中、海外の学生と交流をしてみたいと思い、オンラインで現地の学生と毎日交流ができるプログラムがあるこの研修を見つけ参加を決めました。

研修参加の目的
海外の学生と会話することで、日常の英会話を体験してみること、また英会話を続けられるようスピーキング力を高めることが目的でした。

研修内容（できるだけ詳しく記入してください）
授業は平日 9 時から 12 時までであり、前半は日本の学生 4 人と現地の学生 1 人の 5 人クラスで各トピックについて英語で文法を学んだり、一人一人プレゼンテーションをしたりしました。後半は日本の学生 2 人と現地の学生 1 人の 3 人グループで毎日 1 人司会を決め、司会の進行で各テーマについて自分の意見を話し合ったり、自分の国の紹介をしたりしました。

研修を通して得たもの
オンラインを通して海外の友達と繋がることのできたことがこの研修を通して得たものだと思います。実際には会っていないものの、この研修を通して交流した友達と SNS 上で繋がることができました。また、毎日授業の予習として 3 分程度のスピーチを考えたり、司会進行の担当の日にテーマについてスライドを作ったりとその日の授業が終わっても英語に触れる機会が多かったため、スピーキング力だけでなく、ライティング、リスニング力全てが以前より向上したと思います。



今後の学習計画

日本にいと普段英語で会話する機会は少ないので、スピーキング力を高めることは難しいと思います。しかしこの研修を通して FPT 大学の方々から英語を上達するための勉強法やおすすめのアプリなどを教えてくださったので、今後の学習に役立てたいと思います。またいつかこの研修を通して繋がることができた友人と実際に会ってみたいという新たな目標も出来たので目標に向かって頑張りたいと思います。

プログラムに関する要望等あれば（研修時期・内容等）

オンラインだと日々の授業後に自己学習の時間がしっかりとれるのでオンラインでの語学研修も良いと感じました。

以上

研修参加報告書

東京電機大学での情報	
学 年	大学院生 1 年
学部／研究科	理工学部
学科・学系／専攻	生命理工学専攻
研修期間	令和 3 年 3 月 8 日 ～ 令和 3 年 3 月 20 日

研修先情報	
大学・機関名	FPT Education Global
国名	ベトナム

研修に参加したきっかけ
英語力向上のため。また、2 週間ほぼ毎日授業が実施される研修に参加したことがなかったため興味がありました。そして昨年度開催されました FPT 大学の英語研修の満足度が高かったため再度参加したいと考えたからです。

研修参加の目的
英語力向上のため。特にスピーキング力を鍛えることが目的で参加しました。

研修内容（できるだけ詳しく記入してください）
研修期間は 2 週間です。月曜日～金曜日に本研修では毎日 90 分間の English Class(ネイティブスピーカー対学生 2~3 人の授業)+60 分間の English Pair Tutoring(学生のみ)を行いました。 English Class では基本的な文法事項を学びました。また各授業終了後に課題がありました。課題(例,幼少期の頃の趣味と今現在の趣味は？またその趣味に関するテクノロジーの変化はどのようなものですか?)は次回の授業で発表するのでパワーポイントなどで資料を作成しました。そのため英語を用いた発表スキルも向上しました。 English Pair Tutoring では学生のみ(日本人学生+ベトナム人学生)で与えられた議題(大学とは？家族とは？人生の目標はあるのか?)について話し合いを行いました。日替わりでリーダーを変えて行いました。リーダーになった学生はパワーポイントなどで議題にあった資料を作成し,話し合いが円滑に進むように努める必要があります。

研修を通して得たもの
スピーキングを通してアウトプットすることが非常に大切であると感じました。 自分の意見を述べる際に具体例を交えなければ説得力のあるものにはならないと強く感じました。



今後の学習計画

積極的にアウトプットすることが大切であると強く感じたのでオンライン英会話を受講することを検討しています。

プログラムに関する要望等あれば（研修時期・内容等）

特にありません。